



天正の4少年はラテラノ教会で行われた新教皇シスト5世の即位式に参列した



ジェズ教会は、天正の4少年のローマ滞在中の宿舎だった



ヴァチカン美術館には、ルネサンスを代表する作品が数多く展示されている



オルト教会には、天正遣欧少年使節の一人である中浦ジュリアンの肖像画が祀られている

「ローマは一日にしてならず」ということわざがあるように、見る物、聞くこと、感じることで、全てがドラマチックで、派遣団全員がローマの歴史の深さに感銘を受けました。

また、約430年前に天正遣欧少年使節団が見た風景を、時を超えて今を生きている私たちがみていると思うと感動的でした。



内堀作右衛門奉答書を閲覧する派遣団(ヴァチカン図書館)

天正遣欧少年使節の軌跡を辿る

ローマ市内視察



注目を浴びながら会場中央から退場

派遣された中学生4人は、天正の少年と同じ袴姿でヴァチカン市内にある謁見会場に入り、特別席が準備されており、最前列でローマ教皇に謁見を果たし、派遣団全員が教皇と言葉を交わしました。

ローマ教皇庁の重要なコレクションを収容する図書館で、特別な許可がないと入ることができません。本市では、これまでヴァチカン図書館のご理解をいただき、貴重な史料の提供を受けています。

ローマ教皇謁見

ヴァチカン図書館



ローマ教皇と謁見する派遣団



サン・ピエトロ大聖堂の広場

特集

平成遣欧少年使節 イタリア派遣事業



ヴァチカン図書館の大広間にて

1月8日から15日までの8日間、セミナーヨ授業再現事業に参加した中学生の中から4人を選抜して、平成遣欧少年使節団としてイタリアへ派遣しました。

この事業は、1582年にキリシタン大名の名代としてローマを目指し、ヨーロッパへ渡った天正遣欧少年使節の偉大なる功績を顕彰すると共に、歴史をとおして郷土に誇りをもつ人づくりや、グローバルな人材育成を目的に派遣しているもので、今回で5回目となりました。

今回は、昨年11月にキエーティ市と友好都市になって初めての訪問となり、松本政博市長を団長として、市議会から中村一三議長が代表して参加し、これからの両市の交流についても協議を行いました。



南有馬中学校 2年 末續 真子さん

私は、イタリア派遣事業を通して「異国の文化」について学び、「他国の人と交流を深めることの大切さ」を知りました。

8年5カ月かけて旅をした天正時代の4人とは違い、わずか8日間ではありましたが私にとって多くの貴重な体験と学びを得ることができた派遣でした。そして、さらにキリスト教の歴史について興味を持ち、イタリアと日本

のキリスト教の関連についても詳しく調べてみたくなりました。

南島原市のキリシタン関連遺産が世界遺産に登録されると多くの外国人が南島原を訪れることになると思います。私は、今回の派遣によるこの貴重な体験を活かし、今度は南島原の魅力を伝える側になって世界中に南島原ファンを増やしていけるような行動をしたいと思っています。



有家中学校 2年 古川 明星さん

「四人の少年たちの足跡をたどる」これが、私のイタリア研修の中での大きなテーマでした。

イタリア研修では普段できない貴重な体験ができ、とても充実した8日間を過ごすことができました。

外国に行ったことで改めて日本、南島原の良さに気付くこともできました。そして、これまで以上に外国のことに興味を持つようになりました。以前

から将来は国際的な仕事に就きたいと思っていましたが、その思いがより一段と強くなりました。これからはその夢に一步でも近づけるように、英語の学習に力を入れていきます。

イタリアで学んだことはたくさんの人に伝えていきます。さらに4人の少年たちのように、夢や目標のために努力を惜しまず挑戦する心を持って、何事にも全力で取り組みます。